

フォレストニュース

植林が地球を救う
平成24年(2012) 1月10日
No. 49
発行 高津啓洋

洪水被害調査 植え替えを準備

去年は、大きな洪水に見舞われ



昨年の7月洪水時



現在の状況

た、パンタナール地域ですが、現在は一気に水が引き始め、渇水状況も心配されています。昨年末にパラグアイに帰国した、飯野貞夫元理事は、洪水の被害状況の調査を開始しました。

水に浸かって数か月しましたが、場所によって被害状況は違うようで、赤い花をつけたチバトが元気に花をつけていたり、また、黄色い花のゴールドエンシャワーが咲き誇ったりしているそうです。しかし、枯れたのではと思われる木々もあるそうで、枯れた木は、早期の植え替えを考えています。ただ、土地本来の木が樹勢が強いために、同じ樹種を植えられるかは検討が必要とのこ



とです。

現在は、洪水が引いた後は美しい草原となっていて、馬や牛や豚がのんびりと草を食べています。

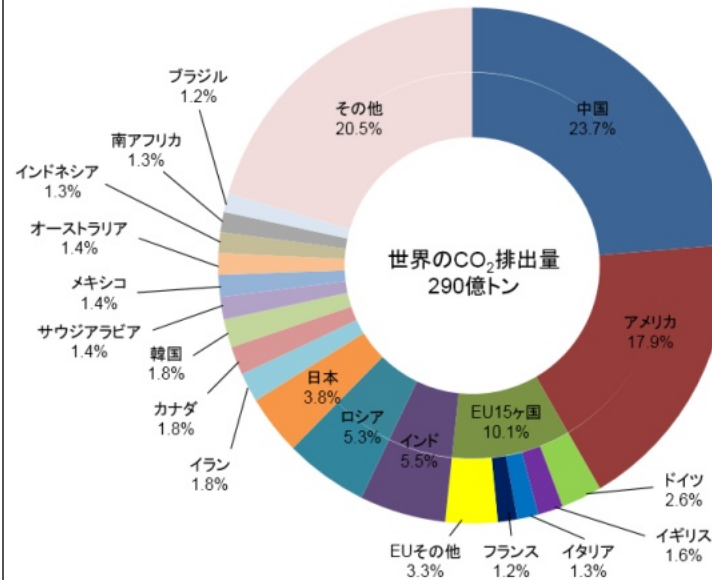
COP17 今後課題多く

南アフリカ・ダーバンで2011年11月28日

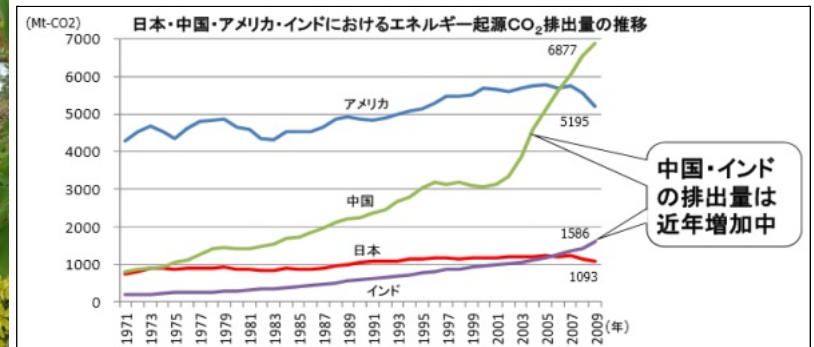
から開催されていた、第17回気候変動枠組条約国会合と第7回京都議定書締約国会合(COP17・COP/MOP7)は、12月11日、「ダーバン・パッケージ」を採択し、閉幕しました。多国間の枠組みの中で温暖化対策に取り組んでゆく道筋をなんとか確保したという意味において、その意義

は大変に大きいものです。しかし、「必要な削減量」と「既に約束された削減量」の乖離(ギャップ)は大きいままです。このままでは、気温上昇の世界に突入してしまいます。国際プロセスの中で、多国間の枠組みを早期に成立させると共に、国内的に対策を進めていくことが重要です。

世界のエネルギー起源CO₂排出量(2009年)



世界のCO₂排出状況 (2009年)



中国・インドの排出量は近年増加中